

徳島市で「医療分野における電波の安全性に関する説明会」を開催 《安全かつ便利に電波を利用するための環境整備》

四国総合通信局(局長:村松 茂(むらまつ しげる))は、平成30年9月29日(土)に徳島市において「医療分野における電波の安全性に関する説明会」を開催し、医療機関や医療関連の企業などから47名が参加しました。この説明会は一般社団法人徳島県臨床工学技士会並びに中四国臨床工学技士会連絡協議会が主催する第8回中四国臨床工学会の市民公開講座として共同で開催したものです。

医療機関では、医用テレメータ、無線LANなどの電波を利用する機器の活用が進んでいます。また、患者やお見舞いで病院を利用する方々も院内で携帯電話等を利用したいというニーズが高まっています。一方で、適正な電波の管理等がなされない場合には、医療機器等にトラブルが発生する恐れがあります。四国総合通信局では、平成28年度から医療関係者等への説明会を開催し、適正な電波利用について周知を行っており、徳島県内では今回が初めての開催となります。

【講演1】

電波出力の大きかった第2世代の携帯電話がサービス終了したことや、医療機器の電磁的耐性が向上したこと等を踏まえ、携帯電話の利用を可能とする医療機関の割合は拡大してきている。

医用テレメータの送信機には1mW以下という出力制限があり、建物の構造によっては十分な電波が届かないことがある。LEDランプやナースコールなどの他の機器からの電波干渉等のトラブルも報告されている。チャンネル設定のミスや電池切れといったヒューマンエラーも電波が届かない原因となり、致命的な事故につながり得る。

テレメータの電波の状態を定期的に確認することが必要で、そのための簡易なチェック機能を持った受信機器等もあることや、病院建設前に各種ケーブルの通線管の配置などを事前に検討した例も紹介。

病院全体で部門横断的な電波管理体制を構築し、適切な保守点検と電波の交通整理が必要であると説明されました。

参加者からは、「病院建設時等、どこの事業者に相談したら良いか」、「病院内で電波管理体制の構築が難しいのでアドバイスいただきたい」といった発言がありました。

【講演2】

一般財団法人電波技術協会 調査研究部 部長 福地 一氏から、総務省が平成29年度に全国26箇所の病院の電波環境測定結果について報告がありました。

医用テレメータ、携帯電話、無線LAN、隣接病院との医用テレメータの干渉などの電波環境を測定した結果、直ちに業務に支障があり改善を要する病院はなかった。

上下階では同階と同等かそれ以上のレベルで受信されたり、近隣の病院間で医用テレメータが混信する可能性があることも確認でき、利用チャンネルの調整が必要であることを報告。

医用テレメータはゾーン内でも場所によって受信の状況が違ってくるので、定期的にゾーン内で送信機を移動させ、電波の受信状況をセントラルモニタで確認する必要があることなどを説明し、病院内の電波の適切な管理について呼びかけた。

まとめ

当日は、台風接近の影響が懸念される中での開催となりましたが、共同開催の関係者の皆様方のご協力により、有意義な説明会となりました。参加者、医療関係者からは、大変参考になったというご意見が寄せられ、四国総合通信局では引き続き各地で説明会、周知を行ってまいります。

【参考資料】「医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き」周知啓発用資料の公表 (総務省報道資料)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban16_02000168.html



【講演1】

演題:「医療機関での安心安全な電波環境の構築」
講師:滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科
教授 加納 隆(かのう たかし)氏

【講演2】

演題:「病院内の電波環境測定結果について」
講師:一般財団法人電波技術協会 調査研究部
部長 福地 一(ふくち はじめ)氏

主催等

主催:四国総合通信局
共催:一般社団法人徳島県臨床工学技士会、
中四国臨床工学技士会連絡協議会

共同開催

第8回中四国臨床工学会

説明会会場

アスティとくしま3階 第1特別会議室
(徳島県徳島市山城町東浜傍示1番地1)

【お問合せ先】 四国総合通信局

電波監理部 電波利用環境課 089-936-5055